

# 2020年12月期第1四半期 決算補足説明資料

---

株式会社アプリックス  
2020年5月13日

# 業績報告 (2020年度第1四半期)

## 20年12月期第1四半期 累計P/L（連結）



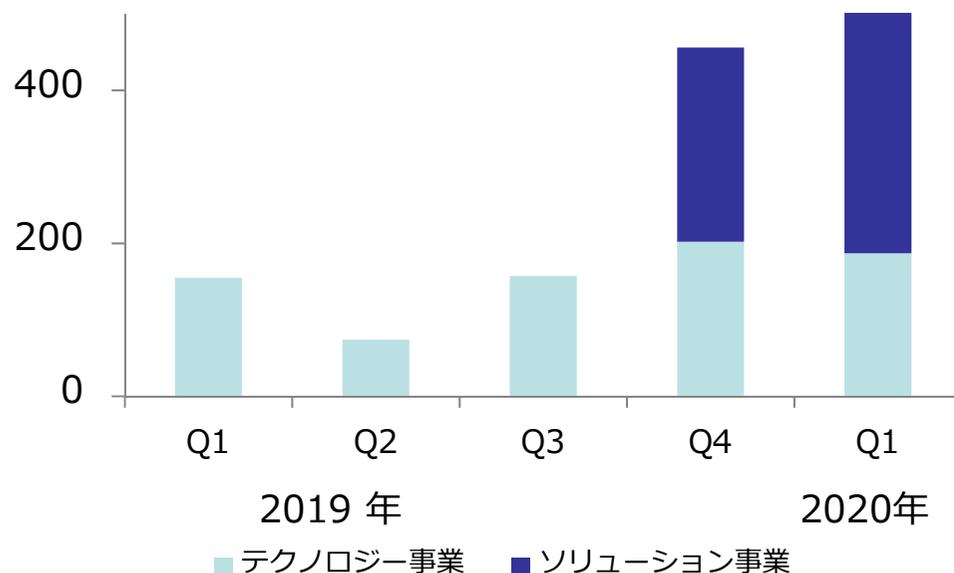
（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
19年12月期 Q1累計実績(B)	<b>155</b>	<b>▲68</b>	<b>▲68</b>	<b>▲102</b>
<b>20年12月期 Q1累計実績(B)</b>	<b>519</b>	<b>▲13</b>	<b>▲17</b>	<b>▲21</b>
増減額（B－A）	<b>+363</b>	<b>+54</b>	<b>+51</b>	<b>+80</b>
増減率（%）	<b>+234.4</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>－</b>

- ▶ ネスレ日本株式会社等の受託開発案件が引き続き順調に推移したこと、またスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社（SMC）の業績（2020年1月～3月）が連結数値に計上されたこと等を要因として、売上高は前年同期比234.4%増となり各利益についてもすべて改善という結果となった。

## 20年12月期第1四半期 売上高推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2019年	2020年	増減率
	Q1	Q1	
テクノロジー事業	155	187	+20.7%
ソリューション事業	—	331	—%
(売上高合計)	155	519	+234.4%

受注高	152	169	+11.1%
受注残高	20	7	▲64.6%

### ▶ テクノロジー事業

主にネスレ日本株式会社等の受託開発案件が引き続き順調に推移したことにより、前年同四半期と比較して売上高が増加。

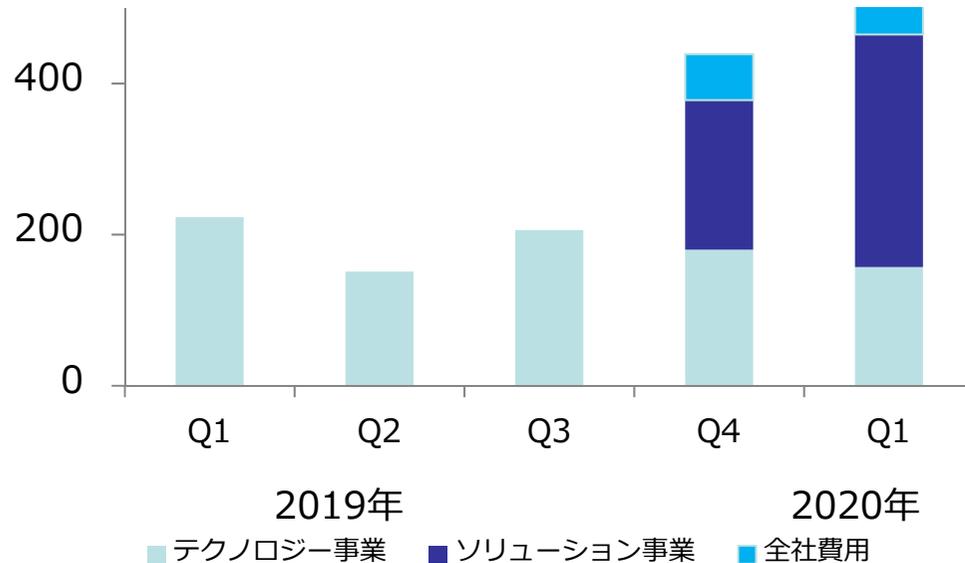
### ▶ ソリューション事業

SMCのMVNOブランド「スマモバ」で展開する格安ケータイや格安SIM、また「THEWIFI」などのモバイルWIFIルーターサービスの拡販に注力。

## 20年12月期第1四半期 営業費用推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2019年 Q1	2020年 Q1	増減率
テクノロジー事業	223	157	▲29.6%
ソリューション事業	—	308	—%
全社費用	—	66	—%
(営業費用合計)	223	532	+138.6%

- 前四半期と比較して営業費用が増加した理由は、ソリューション事業においてSMCに関連する販管費等やクラウド・データ通信サービスに関連する費用が発生したことによるもの。

# 業績予想進捗報告 (2020年度第1四半期)

## 20年12月期 業績予想に対する進捗報告（連結）



(単位：百万円)

	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 1Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
売上高	2,502	519	20.7%
営業費用	2,452	532	—
営業利益	50	▲13	—

新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言による外出自粛を受けて、新製品・新サービスに関連するシステム投資控えの状況が見えはじめている。一方でリモートを推進する仕組みやデータ通信機器及びサービスに対する需要は高い。

当社では、下記の取り組みを行うことにより通期業績予想達成を目指してまいります。

- テクノロジー事業においては、プロジェクト管理の強化やリソース配分の最適化を行い、プロジェクトの生産性及び品質を向上し、案件の確実なリリースとさらなる収益伸長を図る。
- ソリューション事業においては、通信機器及びサービスの販売促進及び提供に力をいれるとともに、クラウドを用いたリカーリングモデルのビジネスを実現を目指す。

# 20年12月期 セグメント別業績予想に対する進捗報告



	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 1Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
--	--------------------------	------------------------	--------------

## テクノロジー事業

売上高	820	187	22.8%
営業費用	572	157	27.4%
営業利益	248	29	11.6%

- 受託開発案件を更に伸ばすべく、優秀な開発人材の採用・確保やプロジェクトマネジメントの強化等を行う
- 「MyBeaconシリーズ」の販路見直しや機能向上を図りさらなる収益向上を目指す

## ソリューション事業

売上高	1,682	331	19.7%
営業費用	1,592	308	19.3%
営業利益	90	22	24.4%

- MVNOブランド「スマモバ」の格安スマホや格安SIM、モバイルルータ「THE WiFi」等の拡販に注力
- MVNO事業者であるSMCの強みであるSIMとアプリックスの技術的知見を活用した新たなIoTサービス立ち上げに取り組む

## 全社費用

営業費用	288	66	22.9%
------	-----	----	-------

- 継続的なコスト削減
- 新しい働き方を推進するための体制、仕組み作りに取り組む

## <ご参考> 20年12月期 業績予想進捗報告 (SMC)



(単位：百万円)

	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 1Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
売上高	1,479	330	22.3%
営業利益	95	33	34.7%

- ▶ 独自MVNOブランド「スマモバ」における格安ケータイや格安SIM、クラウドSIMを用いたモバイルWiFiルーターサービス「めっちゃWiFi」や「THE WIFI」、また法人向けIoTデータ通信サービス「unio (ユニオ)」など、顧客ニーズに応じたデータ通信サービスに注力。

# トピックス（製品・サービス関連）

# アプリックス子会社のスマートモバイルコミュニケーションズが モバイルWiFiルーターサービスの販売を強化

## ■ 「THE WiFi」の提供開始

データ通信容量無制限、3大通信キャリアのすべてのLTEエリアに対応、15万ヶ所以上の公衆WiFiスポットに対応などの点に加えて、海外132カ国でも利用可能なことや将来的に普及が見込まれる5G通信へのアップグレードプログラムにも対応した、クラウドSIMを使用したモバイルWiFiルーターの新サービス「THE WiFi」を2020年3月より提供開始しました。



## ■ 「ABEMA見放題WiFi」の提供開始

「ABEMA」の約26,000以上の人気エピソードが見放題となる「ABEMAプレミアム」と、データ通信容量無制限のWiFiサービス「THE WiFiライト」がお得なセットになった新サービス「ABEMA見放題WiFi」の提供を2020年4月より開始しました。



### アプリックスが東京ガスエンジニアリングソリューションズと ガス保安関連機器のIoT化に関する共同開発について合意

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（以下「TGES」）が取り扱うガス保安関連機器のIoT化に関する共同開発について、2020年3月に基本合意しました。

本共同開発は、アプリックスの「HARPS™（ハープス）」や、遠隔でのモニタリング、顧客管理を実現するためのアプリケーションおよびクラウドシステムの技術と、TGESのガス保安関連機器などに用いられる、さまざまな情報を計測・数値化するセンシング技術を融合するものです。これまで以上にタイムリーなデータの取得や状態の把握・監視を可能とし、各種データの分析、連動を強化することで、予防保全やメンテナンスの効率化を実現してまいります。

## 会社名

株式会社アプリックス  
[英文表記：Aplix Corporation]

## 本社所在地

〒160-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## 設立年月日

1986年2月22日

## 資本金

2,443百万円 [2019年12月末現在]

## 売上高

843百万円（連結） [2019年12月期]

## 従業員数

39名（連結） [2019年12月末現在]

## マネジメント体制（2020年4月30日現在）

代表取締役社長	根本 忍
常務取締役	倉林 聡子
取締役（社外）	平松 庚三
取締役（社外）	田口 勉
常勤監査役	大西 完司
監査役（社外）	山田 奨
監査役（社外）	坂口 禎彦

執行役員	鳥越 洋輔
------	-------

オブザーバー	根木 勝彦
オブザーバー	石黒 邦宏
オブザーバー	曽根 卓朗

## 事業内容

テクノロジー事業  
ソリューション事業

## グループ会社

株式会社BEAMO  
スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社



株式会社アプリックス  
<https://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。